

วารสารกรุงเทพฯ

クルンテープ



Since 1968

NO. 623 | 2020年 7月-9月



タイ国日本人会
Japanese Association in Thailand



シーカー・アジア財団が
運営するクロントイ地区
の縫製工房 3月19日(木)

特集1 チャリティー基金寄付金贈呈式

日本人会の 社会貢献活動

シーカー・アジア財団 プラティープ財団
クロントイ幼稚園 Social Development and Service

特集2 バンコク生活を豊かにする

ボランティアガイド

タイでできるよ! こんなこと
ボランティアグループ9団体とすくすく会など

編集部スタッフが実際に歩いてご紹介していたバンコクの街歩き【WalkinginBangkok】など、TATの情報をもとに身近なタイの旅をご案内していたこちらの企画ですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いタイでも外出に規制がかかり、取材に出ることが難しくなっていました。そんな中だからこそ、いつもと違うタイの楽しみ方をご紹介したいと思います。

Open
to the
New
Shades



vol.13 Eカード、バーチャルツアー
おうちdeタイ クッキング動画

街歩きも旅も、ちょっとだけお休みして
おうちじかんにもいつもと違う
タイの楽しみ方を探してみませんか？

北部プレー県のクム・チャオルアン

バーチャルツアー

バーチャル 体験で楽しむ 9県10の 魅力



ドールハウスでのビュー



3Dでのビュー

遺跡や博物館など9県10ヵ所をバーチャル情報と、周辺の観光情報を合わせてご紹介しています。旅の計画や、写真撮影のアングルを考えたり活用できそうです。

WEB: <https://www.thailandtravel.or.jp/3d-virtual/>

クム・チャオルアン(プレー県)。タイと欧州の様式がミックスされた建物は100年以上経っていますが、美しい装飾は今も健在です。真上からなど様々な角度から楽しめます。

おうちdeタイ クッキング動画

タイに いるなら！ 作ろう タイ料理！

五つ星ホテルや有名レストラン、TAT大阪事務所長直伝のレシピなど、人気タイ料理のレシピを動画で紹介しています。せっかく本場のタイ食材が簡単に手に入るタイに住んでいるのですから、グリーンカレーやカオマンガイなど、おうちごはんにも本格タイ料理はいかがでしょう？

WEB: <https://www.thailandtravel.or.jp/ouchi-de-thai11/>



【おうちでタイ1】タイ国政府観光庁大阪事務所の所長直伝！本場のカオマンガイレシピ

所長がいつも自宅で食べる家庭の味、本場のカオマンガイレシピをご紹介します！



【おうちでタイクッキング】5つ星ホテルのレシピ！大人気のタイ料理「グリーンカレー」

ハイアット・リージェンシー・(バンコク・スワンビッド)のシェフ直伝！

まさこEカード

タイの気分を おすそ分け デジタル ポストカード

タイの美しい写真に「タイで会いましょう」などのメッセージを付けたデジタルポストカードを遠くにいる大切な人に贈りませんか？ また、画像を保存して、オンライン飲み会時の仮想背景に使ってみるのも楽しいですね。

WEB: <http://tat.ecard.paulsolution.com/index.html>



実際の操作画面→
スマホで簡単に操作できます



วารสารกรุงเทพฯ クランテープ

2020年 7月-9月
NO. 623 ● 目次



P4



P22



表紙：布マスクを製造する縫製工房
場所：バンコク・クロントイ地区

シーカー・アジア財団がクロントイ・スラムで運営する縫製工房は、コロナ禍でマスクを製造。タイ国日本人会は雇用支援のため、総額15万パーツ相当のマスクを発注し、日本人会会員に配布しました。

写真 / ムシカシントーン小河修子

0 2 Open to the New Shades
E カード、バーチャルツアー、おうちdeタイ クッキング動画

0 4 日本人会の社会貢献活動

クロントイ地区 4 団体にチャリティー基金寄付金贈呈式

「タイのスラム問題の実情 クロントイ・スラムから」

八木澤克昌 公益社団法人シャンティ国際ボランティア アジア地域ディレクター

●布マスク5200枚発注 シーカー・アジア財団運営の縫製工房に雇用支援

0 9 バンコク生活を豊かにする ボランティアガイド タイでできるよ!こんなこと

●ARC(アーク)どこでも本読み隊バンコクサポーター

●クロントイ幼稚園ボランティア ●シーカー・アジア財団

●ルアムジャイ(タイ国内日本人家庭ホームステイプログラム)

●バンコク国立博物館ボランティア日本語ガイドグループ

●サロン・オ・デュ・タン ●ヤマトナデシコin Thailand (NADETHAI)

●ルンアルン(暁)プロジェクト ●Wat Arun Community Learning

Center ●すくすく会 ●出産準備教室 ●バンコク子ども図書館

●別館一般図書館 ●チャリティーバザー実行委員会 ●もちつき祭り

【インタビュー●ボランティアの扉を開けたら】

タイの地方の高校生のホストファミリーになって

佐藤里織さん×ルアムジャイ

活動を通じて人とつながり世界が広がりました

浅原晴美さん×一般図書館ボランティア

1 5 俳句と短歌の広場

1 6 きっかけはタイ タイから繋がるライフストーリー

川端隆志さん ピアニスト

37歳で脱サラ。一度は諦めた音楽の道を再びバンコクで。

1 8 2020年度タイ国日本人会新役員紹介

2 2 きみもおいでよ ぼくらのサークル

日本人会青少年サークル紹介

2 5 活動報告

2 6 タイ国日本人会ゴルフ部月例会成績

2 7 タイのお菓子は二度おいしい ムシカシントーン小河修子

カノム・ジャーモンケット

ココナッツミルクで煉った米粉をバナナの葉で包んだ、もうひとつの伝統菓子

2 9 すくすく会通信

3 0 編集後記



P27

日本人会の 社会貢献 活動

◎特集

シーカー・アジア財団
プラティープ財団
クロントイ幼稚園
Social Development
and Service



Social Development
and Service

ソーシャル・
ディベロップメント・
アンド・サービス

クロントイ地区4団体に チャリティー基金 寄付金贈呈式

3月19日(木)にクロントイ地区を訪問し、4団体に総額52万4360バーツを寄付致しました。

贈呈式には、在タイ日本国大使館より小林広報文化部長、日本人会より島田会長、チャリティー運営委員会の西村委員長、富永理事に出席いただきました。

日本人会では、昨年9月に実施された日本人会チャリティーバザーの純益金や企業・団体・個人の方々からの現金寄付を原資に、タイで社会貢献活動を行っている団体を支援しています。支援先はチャリティー基金運営委員会で厳正なる審議の上、決定しています。

支援団体と寄付金等

▼シーカー・アジア財団

【寄付】13万8360バーツ
スラム、農村児童の研修キャンプ活動、環境整備(対象120名)



【寄付】8万バーツ
クロントイ・スラム地区の青少年の
非行防止のための
サッカー活動支援
（ユニフォーム制作
費用）（対象200
名）



▼プラティープ財団
【寄付】10万バーツ
スラムの青少年リーダー育成事
業（対象60名）
▼クロントイ幼稚園
【寄付】20万6000バーツ
①遠足活動（新型肺炎の影響で
中止）↓伝染病対策備蓄品購入費
に充当）、②臨時職員の人件費
（対象60名）
▼Social Development
and Service (Football)

タイの スラム問題の 実情

クロントイ・スラムから

八木澤克昌

公益社団法人シャンティ国際ボランティア
アジア地域ディレクター

クロントイ・スラムは、人口約10万人が暮らすバンコク最大のスラム。住民の多くはタイ社会の生活インフラを低賃金労働者として支えています。長年、現場で教育支援などの活動に従事してきたシャンティ国際ボランティアの八木澤克昌さんに、タイのスラムとクロントイの実情に関してご寄稿いただきました。

「スラム」の定義とは

スラム(Slum)とは、国連の定義によると「人口が密集し、老朽化し、衛生、健康や安全、生活環境に問題がある建物、建物群、または地域」とされています。スラムの定義は、時代と国や地域、行政機関によっても異なります。

タイのバンコクの都庁(MBA)のコミュニティ開発局のスラムの定義は、「人口密集コミュニティ」(チムジョン・エーアット)。1ライ(1600m²)に密集して暮らし不衛生、居住環境が劣悪で15世帯以上が暮らす地区としています。さらにコミュニティを

- ① 「郊外コミュニティ」
- ② 分譲住宅地区
- ③ 公社住宅地区

日本人会の 社会貢献 活動

◎特集



10万人が生活するクロントイ・スラム。奥の高層ビル群はスクムビット地区に続く

④都市コミュニティと分類しています。こうした都市の低所得者が多く暮らすコミュニティ全般を広義の「スラム」と定義した場合のバンコクのスラムの人口は、2070地区、209万529人（バンコク都庁開発局 2019年1月）としています。バンコク都庁が定義する狭義のスラムの「人口密集コミュニティ」は、662カ所、68万5240人。スラム研究者やスラム支援の団体の間では、広義のスラム2070カ所、209万529人の数字が広く認められています。

バンコク都庁の統計等では、バンコクのスラムの数は、1985年に943カ所、96万5000人。1996年、1246カ所、124万7200人。2006年、1774カ所180万6000人と年々増加傾向にあります。バンコクの人口の中で占める割合も20パーセントから30パーセント前後を占めています。実にバンコクの人口の約5人に1人がスラムに暮らしていることになりました。

「クロントイ・スラム」とは、クロントイ・スラムは、人口



改善されてきたとはいえ、環境は衛生面でも問題がある

約10万人が暮らすバンコク最大のスラムです。シーカー・アジア財団やドウアン・プラティープ財団などが長年にわたり教育等の活動を支援しています。

クロントイ・スラムは、チャオプラヤー川沿いにあるクロントイ港に隣接し43の地区から形成されています。面積は、2357ライ。土地の所有者は、タイ政府の港湾局です。現在、この港湾局の所有する26地区約6万人に再開発計画に伴う立ち退き問題が浮上しています。

スラムの住民の多くは、地方農村から仕事を求めて定住した出稼ぎ労働者です。不安定な日雇いの荷役等の港湾、建設現場、輸送、市場、屋台、露天、行商、清掃、警備員、タクシートの運転手等です。タイ社会の生活インフラを低賃金労働者として支えています。

スラムの住民は、貧困、居住環境、居住権、教育、収入と経



細い路地に軒が連なる



エビの加工場で働く人々

布マスク5200枚発注

シーカー・アジア財団運営の
縫製工房に雇用支援



新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大防止のため、日本人会チャリティー基金よりマスクを通じた雇用支援 (総額15万パーツ相当) を行うことを決定し、5月11日 (月) にクロントイ地域で贈呈式を行いました。

約10万人が暮らしているクロントイ・スラムの地域支援として、スラム内にあるシーカー・アジア財団が運営するマスク工房に布製マスクを5200枚 (約15万パーツ) を発注し、約1ヵ月分の雇用を支援いたしました。こちらのマスク工房では3月からマスク生産を手がけ、1日あたり約350枚を生産しています。

現在、非常事態宣言下のバンコクでスラム地域に住む多くの方々が普段従事しております建設業、港湾荷受、デパートなどの清掃、マッサージ店の休業などで仕事を失っている現状が既に報道されております。この支援には、タイに住む日本人社会として、スラム地域の女性たちが生産する布製マスクを購入することで仕事と収入を確保すると同時に、感染拡大予防にも繋がる仕組みを応援したいというメッセージが込められています。マスクは、日本人会会員5200世帯にお届けし、更に日本人コミュニティから追加発注・地域へ無償配布していただけるようPRし、地域社会への雇用継続に繋げていきたいと考えています。

※布製マスク発注のお問い合わせはp10のシーカー・アジア財団をご覧ください。



コロナ禍で仕事を失った住人も多い

移民労働者問題

クロントイ・スラムでも近年は、貧困と劣悪な居住環境、麻薬の横行等の社会問題を反映し、現在もタイ社会から差別と偏見にも直面しているのが現実です。

クロントイ・スラムでも近年

カンボジアやミャンマー等からの移民労働者が増えています。地区によっては、住民の約1割を占める程です。港の荷役や建設現場、清掃やメイドの仕事に就いています。スラムも国境を超えて形成される時代となっています。

タイ全体では、陸続きの隣国のミャンマーから300万人、カンボジアから130万人、ラオスから60万人と推定されています。仕事はタイ人が嫌がる3K労働の港湾や建設現場、農業、

漁業、海鮮産業、生鮮市場、さらに日本人が利用するメイド、清掃、ホテル、レストラン、居酒屋等と多岐に渡っています。タイは、深刻な少子高齢化により労働者が不足し、隣国は農業以外に産業も乏しく、仕事を求めてタイへと国境を越えています。タイの産業や経済は移民労働者を抜きには成り立たない時代。タイと隣国が国境を越えて相互に依存する関係となっています。

タイに暮らす日本人にとって

も無意識の内に移民労働者が建設に関わったショッピングセンター、コンドミニアムやホテルを利用し、タイ料理のエビや魚等も移民労働者を抜きに食べることのできない時代となっています。

今、タイに暮らす日本人にとってもタイの生活インフラを支えるスラムや隣人の移民労働者の存在や生活を少しでも知ることが大切な時代になっているのではと思います。

バンコク生活を豊かにする

ボランティア ガイド

タイでも読書活動が盛ん！

ボランティアガイド

ARC (アーク) どこでも本読み隊 バンコクサポーター

アークは2010年に全盲の本の虫である堀内佳美が設立した団体で、プラオ(チェンマイ)のコミュニティー図書館を拠点に、本に触れる機会に恵まれない人々にも平等に読書の機会を提供する移動図書館の運営や、少数民族の子どもたちのための教育支援活動、障がいの有無を問わずすべての子

どもが楽しめる「でこぼこ絵本」の製作・販売・配布を行っています。バンコクのサポートメンバーは、活動を紹介するためのイベントや講演会などの他、でこぼこ絵本のパーツ製作を行っています。

.....連絡先.....

✉ japanese@alwaysreadingcaravan.org

☎ 084-713-6933 (堀川)

📘 アークどこでも本読み隊@ARCbookworm.jp

HP <http://www.alwaysreadingcaravan.org/japanese/>

◎特集

タイでボランティア活動！
新しい友と出会い、
タイ社会とつながる。
窓が開き、新しい風が吹く。
そんな始まりの一步を
ここから。



ルアムジャイ

タイ国内日本人家庭ホームステイプログラム



タイの地方で日本語を学び、日本についてももっと知りたいと願う学生たちと、タイに住みながらタイのことを知る機会がなく、もっとタイの人と触れ合いたいと願う日本人家族とをつなげるプログラムです。3日

間のホームステイを通じて、新しいつながりが生まれ、それぞれ日本語を学ぶ意味やタイにいる意味を発見し、お互いにとっての「生きる力」になることを目指しています。

連絡先

☎ 094-480-4818 (佐藤)

HP <https://homestayth.wixsite.com/ruamjai>

バンコク国立博物館ボランティア 日本語ガイドグループ



毎週水曜日と木曜日午前中に、バンコク国立博物館で日本語のボランティアガイドを行っています。実際にガイドをするのは、ひとり月に1～2回です。ガイドだけでなく勉強会も実施しています。入会後はまずタイの歴史を勉強します。毎年7月から11月は、宗教美術の勉強会を開催し、ガイドに活かせるよう努めています。また2年目から会の運営にも携わります。会の運営・勉強会の実施・行事の企画なども行い、やりがいのある活動です。

連絡先

✉ hakubutsukan.bkk@gmail.com

📍 バンコク国立博物館ボランティア・日本語ガイドグループ

クロントイ幼稚園ボランティア

毎月第2水曜日にクロントイ・スラムにある幼稚園を訪問、1時間半ほど園児たちとリサイクル工作をしたり、園庭で遊んだり、昼食の炊き出しなどを行っています。メンバーによる打ち合わせや訪問のための準備会を他の水曜日に行っています。その他、園児の母親らによる手作り品を販売するチャリティーバザーを年3回開催。バザーの際に、活動時の写真などを掲示したり、必要な時にはメンバーを募集しています。現在 新型コロナの影響で活動停止中です(6月末日現在)。



連絡先

✉ nishii_nk@hotmail.com
(西井孝江)

📍 クロントイ幼稚園ボランティア
”スーン パッタナレ ボリカーン クロントイ”

シーカー・アジア財団

ボランティア活動は、内容、頻度活動に応じて様々です。図書館活動では、幼児、小学校低学年を対象とした絵本の読み聞かせやお話会、音楽、芸術活動。移動図書館活動では活動の補助や記録写真撮影、クラフト事業では販売イベントの企画からアシスト、商品開発などがあります。スラムツアー等のスタディーツアーの企画から実施、タイ語から日本語や英語への翻訳、広報等専門性を活かした活動もあります。これまでのボランティアの常識を超えたタイ発のボランティアを一緒に創りませんか？



連絡先

✉ arne.saf93@gmail.com
サントーン・マーユ(アネー)日本語可

📍 Sikkha Asia Foundation

HP <http://sikkha.or.th/jp/>

IG Feemue klong toey

佐藤里織さん×ルアムジャイ

タイの地方の高校生の ホストファミリーになって

タイの地方で日本語を学ぶ中高生を、バンコクの日本人家庭がホストになり2泊3日のホームステイを受け入れるタイ国内日本人家庭ホームステイプログラム、ルアムジャイ。実行委員でホストファミリー歴8回の佐藤さんにお話をうかがいました。

— ボランティアのきっかけは？
フリーペーパーでホストファミリーを募集していることを知って

応募しました。タイに来たばかりでしたし、また友達もいなくて引きこもり気味で、せっかくタイにいるのだからタイの人たちと触れ合いたいという思いがありました。最初の受け入れは2014年11月。タイ南部のトラン県の高校生の男の子2人でした。日本語を勉強しているといっても日本語は挨拶程度でしたが、その子たちは英語ができたので意思の疎通に困ったときは英語でした。当時は毎週どこかに出かけていたこともあって、一緒に外出して、夜は焼肉食べ放題に連れていってという感じでした。トランプをしようと言うので日本のゲームを教えたら、その後タイのゲームを教え

んだか新しい発見がありました。— どんなふう在接受入れればいいのかでしょう？

初めのうちは「おもてなし」を考えて頑張っていました。少し疲れるというところがありません。何回目かときに、主人が家にいなくて遠出ができなかったので、お弁当を作ってベンジャシリ公園に行くことにしたんです。そしたらお弁当を作ったことがすごく楽しかったと言うんですね。私たちにとって当たり前のことがタイの人にとっては特別な経験になることがわかり、普通でいいんだと悟りました。それから台所で一緒に料理をすることにしています。メニューは簡単な巻き寿司やカレーなど家庭料理の定番です。料理好きな子なら、タイ料理を作ってもらうこともあります。

— お子さんはいかがですか？

うちの子は人見知りで、最初のうちは私が誘わないと遊ぶこともできなかつたのですが、回を重ねるうちに「今度お兄さんが来たからこれやりたい」と言うようになり、子どもの成長を感じています。バスケットやサッカーなどスポーツ系は距離が縮まりますよ。

— 3人のお子さんを育てる中で8回もホストになり、さらに実行委員も引き受けているその原動力は？

受け入れの後、生徒の学校の先生からレターをいただいて「やる気になかった生徒たちの授業態度が変わった」「将来の夢を描くようになった」という報告があり、ホームステイプログラムがタイの

子どもたちにとっても意味のある経験であることを実際に知ったことからです。

— 興味のある方にアドバイスを。

妊婦さんでホストファミリーになった方もいるし、私自身も、1番下の子の妊娠中と、その子が生後4カ月のときに、受け入れをしました。泊まる部屋は個室がなくともOKです。リビングにマットを用意したり、子ども部屋の共用でも大丈夫。ルアムジャイ代表の深澤伸子先生は「親戚が来たような感じで受け入れてくださいね」「できないことはできないと言ってもいいよ」とおっしゃっています。ハードルを高くせずには挑戦してみたいです。意外などころではご主人のいいところが見れるかもしれませんよ。

— ありがとうございます。



ご近所のベンジャシリ公園でピクニック



巻き寿司やおにぎり作りは大好評

取材・文／ムシカシントン小河修子 写真／佐藤里織さん提供
※ルアムジャイの情報はp10をご覧ください。



ルンアルン(暁)プロジェクト

タ イ山地民の人々が、独自の文化を守りながら発展的に豊かな生活を続けられること、異文化交流しながら、互いに学び合うことを目的に1987年から活動を行っています。教育支援活動として、学校外教育で中高過程を学ぶ研修生の受け入れ、高校生、大学生を対象とする奨学金、山間地の保育園支援など。持続型の農業奨励と環境を守る活動として、有機農業研修会の実施、水源の森を広げる植林活動など。2020年度は山地民の伝統文化の糸紡ぎ、手織り等を学ぶ研修会を実施予定です。バンコクではルンアルンコーヒーサポーターが販売のボランティアをしています。

連絡先

✉ rungarun_akatsuki@yahoo.co.jp

☎ 089-556-1649 (中野總積)

📘 Hozumi Nakano

📘 RUNG ARUN Coffee Supporter (サポーターサイト)



バンコクで販売と広報のボランティア活動をしているルンアルンコーヒーサポーター (左) コーヒーチェリーの手摘み作業 (右)

Wat Arun Community Learning Center

貧 困家庭の子ども及び青少年の教育支援を多角的に行っています。おもなプロジェクトのひとつが、高卒の女子学生を寄宿生として受け入れ、大学の看護学科で学ぶ機会を与え、准看護師の資格取得後は病院等へ就職支援を行う無償の奨学金制度です。現在、英語や日本語、おりがみなど日本文化を教えてください。ボランティアを募集しています。

連絡先

✉ chalotte160284@gmail.com

☎ 086-355-9302

(Miss Mayuree Kojirapan)



サロン・オ・デュ・タン

夢 の実現サポート、リラックス空間の提供、メッセージ発信の場、この三つのコンセプトで活動しております。サロンオープン以来、たくさんの素敵な出会いがありました。様々なイベントやコンサートの開催のお手伝いして下さる方を募集しています。デスクワーク、子連れボランティアOK、演者のために役に立ちたい。演奏やダンスでのボランティア、スラム地域への社会貢献など。少しでも興味がある方はお気軽にお問い合わせください。楽しく素敵な時間を一緒に過ごしましょう！



連絡先

✉ salohdtemps@gmail.com(加古川成子)

📘 https://m.facebook.com/salohdtempsbkk/?locale2=ja_JP

HP <https://salohdtemps.wixsite.com/salohdtemps/about-us>

ヤマトナデシコ in Thailand NADETHAI

2 011年、3月には東日本大震災が、10月にはタイで大洪水が起きました。その時に日本とタイの災害孤児を支援したいと発足しました。現在は主にタイとミャンマーの国境近くにある学校兼児童養護施設「虹の学校」を支援しています。物作りを通じた支援をメインに、ハギレや古



着を使った布製品(布草履、布ナプキン、布マスクなど)の製作販売や、虹の学校商品の委託販売を行っています。



連絡先

✉ nadethai.japan@gmail.com

☎ 081-810-0046(吉澤)

浅原晴美さん×一般図書館ボランティア

活動を通じて人とつながり

世界が広がりました



スタッフのおススメ本コーナーの前で

会社を辞めて帯同家族としてタイへ。リタイアしてのんびりのはずだったバンコクで感じたのは「自分を変えないとダメになつてしまう」という焦燥。そんな折に目にしたのが日本人会のボランティア募集の記事でした。

―ボランティアのきっかけは？
夫がタイに駐在することになり、30年間勤務した会社を辞めて2017年8月にバンコクに来たのですが、海外生活も家になつてのんびりのつもりでしたが何か違うと感じ始め、「自分を変えないとダメになつてしまう」と思いつめていた頃、日本人会ボランティア



年間の蔵書増加数は500冊。新刊や話題の本、雑誌もあります

―募集の記事を見ました。迷った末、日本人会別館に電話したところ、事務局の方が親身になって話を聞いてくださったので、励まされて、図書館ボランティアに参加させていただくことにしました。

―具体的な仕事の内容は？
2018年の6月から始めて、しばらくはカウンターでの貸出返却業務が中心で、2019年度は1年間の任期で世話役として活動しました。年度前半はマニュアル整備や図書館システム内のエラーデータクレンジング等の「改善」を、後半は「利用者増」を目的に活動。別館一般図書館は寄贈本が置いてあるだけというイメージが独り歩きしている感がありましたので、図書館の魅力を伝えたいと考え、ホームページとラインで新着本やおススメ本の情報を仲間と協力しながら配信しました。

―新しい試みで入館者がぐっと増えたとうかがいました。
一般図書館には子ども向けの学習系の本が少し置いてあり、小学校のお子様を持つお母様がそういった本をよく借りていくのに気づいて、家族向けコーナーを立ち上げ、歴史漫画や科学漫画(サブイバルシリーズ)、事典シリーズ(『さんねんな生き物事典』など)、小学校高学年のお子様向けの本をコーナーに集めたんです。それにメンバーからの寄贈協力があつて、コーナーを拡充することができました。

―とても好評で、3月は新型コロナのため24日以降クローズしたにもかかわらず、年度合計は延べ利用

者数・貸出冊数共に過去最高を記録することができました。サブイバルシリーズは21冊ありますが、次々と貸し出されるので本棚に並ぶ間がないくらいでした。アイデアや工夫、仲間との協力で、様々な年代層の利用が増えていく変化を実感できたので、非常にやりがいがありました。



サブイバルシリーズと事典シリーズの張り付け引

―ボランティア活動はどんな存在でしたか？
期間限定の駐妻生活、自分が何かお役に立てたらと始めたボランティアですが、活動を通じて人とつながり世界が広がりました。ボランティアは無償の貢献というイメージですが、成長の場でもあり自分が磨かれる場でもあると実感しています。

―本帰国間近とうかがいました。日本でのご予定は？
リタイアしたんだわと思つてバンコクに来たのですが、どうも成仏できていなかったといえます。バンコクでの時間は自分にとって仕事とは何かということ、一旦距離を置いて問い直す期間だつたと思います。「仕事を通じて社会とつながっていたい」という答えが出ましたので、日本でも何らかの仕事はしたいなと思つています。

―ありがとうございます。

すくすく会



<https://sukusukubkk.wixsite.com/sukusukukai>

おっぱいミーティング

助産師さん・看護師さんはもちろんですが、ご興味のある方ならどなたでも大歓迎！ 妊婦さんや授乳婦さんとのふれあいは、なんだか優しい気持ちになれる幸せなひとときです。ぜひ、見学にお越しください。

連絡先

✉ opm_bkk@yahoo.co.jp

わんぱくミーティング

未就園児向けの様々なイベントの企画運営、双子の親子向けのさくらんぼおしゃべり広場、バンコクでの離乳食情報の提供、幼稚園案内の発行など、幅広く活動しています。活動頻度や内容は、わんぱくミーティングのページをご覧ください。親子で一緒に楽しめるボランティア活動です。

連絡先

✉ bkkwanpaku@yahoo.co.jp



すくすくだより編集部

会報誌「すくすくだより」の企画・編集を担当しています。活動頻度は「月1～2回（水・金）約3時間」自宅でのPC作業があります。取材も楽しく、皆で作上げた達成感や満足感もあります。また「すくすくだより」の各種投稿もお待ちしております！

連絡先

✉ sukusukudayori@yahoo.co.jp

Facebook: [@sukusukudayoribkk](https://www.facebook.com/sukusukudayoribkk)

キッズルーム

2017年に発足したグループで、まだまだ手探りで活動中！ 現在は、キッズルームの管理、イベントの調整が主なお仕事です。スタッフ会議が月1回程度、イベントのアテンドは可能な日時のみ、他は自宅でPCやLINEを使ってできる内容です。いろいろな人に出会いたい、いろいろなことを試したい、新しいグループを一緒に作っていききたい…そんな方にぴったりです。

連絡先

✉ sukusukubkk@gmail.com

出産準備教室



<https://syussanmeeting.wixsite.com/syussanbkk>

助産師さん・看護師さんはもちろんですが、ご興味のある方ならどなたでも大歓迎！ 活動頻度は「月1回（原則 奇数月：第2水曜/偶数月：第3土曜）3時間程度」。あなたの可能な時間だけのお手伝いで構いません。また、タイでご出産された「母親体験談」「父親体験談」の話し手さんも随時募集中です。少しでも興味があれば、まずはお気軽にお問い合わせください。

連絡先

✉ syussan.meeting@gmail.com

日本人会



<https://www.jat.or.th/jp/>

バンコク子ども図書館

子どもたちのために！自分磨きのためにも！たくさんの本に触れる機会を作りませんか。バンコク子ども図書館では、厳選された良質の本を約1万冊取り揃えております。毎月変わる手作りのディスプレイが飾られた温かい雰囲気の中、季節の本、新着本、おすすめ本など、本を手取る喜びを、運営のお手伝いをしながら一緒に感じませんか。

連絡先

✉ 02-662-4950 (日本人会別館子ども図書館)

Facebook: [@kodomotosho](https://www.facebook.com/kodomotosho)

別館一般図書館

月に2回程度の3時間、スクムビット別館の図書館内カウンターで貸出・返却手続きのお手伝いをいただいています。年4回開催の図書ボランティア会議では図書館運営や新規購入書籍の選定についてご意見をいただくことも。1万2000冊の本に囲まれて、読書しながらボランティア。読書好きにはたまらない環境です。月刊誌も置いています。

連絡先

☎ 02-662-4948 (日本人会別館)

✉ annex@jat.or.th

チャリティーバザー実行委員会

チャリティーバザーの商品の値付けや梱包等の事前準備や、当日の販売・金額集計等バザー当日は、お客様の誘導等がありますので、男性も大歓迎です！

連絡先

☎ 02-236-1201 (日本人会本館)

✉ info@jat.or.th

もちつき祭り

日本人会の恒例行事「もちつき大会」。約40Kgのもち米を朝8時から蒸して、ついて、参加者にふるまいます。餅つき経験者はもとより、興味のある方、お時間のあられる方、飛び入り参加も大歓迎。

連絡先

☎ 02-236-1201 (日本人会本館)

✉ info@jat.or.th



※日本人会ボランティアではボランティア証明書の発行が可能です！

俳句と短歌の広場

◆メナム句会は、二〇二〇年三月～五月メール句会（兼題・清明節、
螢鳥賊、ソムオー、海女、他）、または新作の自選一句です。

地を揺らす猛暑の風となつてをり イーブン美奈子
母の日や手を入念に消毒し 岩田真之介
螢鳥賊地球に夜空あるごとく 浮田恒夫
姫の爪コロナ撲滅タイの花 大竹茜子
果物がおかずに変わるヤムソムオー 阪口(グッチ)
春雷の後にくつきり虹がでる 嵯峨春野
海女^{あま}潜る手足ゆらりと解き放つ 堀井京子
コロナ舞う清明節は静寂に 山田 誠
珊瑚樹の若葉外なる子らはしやぐ 山本良子

メナム句会のご案内

日時 第二土曜・十七時～
場所 本館会議室
電話 〇九〇・九七〇・一二五六
メール minakobar@gmail.com (イーブン美奈子)



◆バンコク短歌会は、二〇二〇年二月例会、四月メール歌会（題詠・
染、生まれる、新型コロナウィルス）、または新作の自選一首です。
ひとりひとつ誕生日あるかなしさを熟知してゐるご
とこぎつね座
イーブン美奈子

地元東村山市出身の志村けんさんの訃報に接して

駅前の献花台まで社会距離開けて無言の列が続きぬ
北館尚子

オンライン何着るべきか髭剃るかまずは愛猫別室に
留め 阪口(グッチ)

家籠りパセリパクチー底をつきプールサイドのバジ
ルで凌ぐ 斎藤由利子

席ひとつ空けて座れと張り紙のある中華やで湯麺を
喰ふ 申人

いつもより目力込めて伝えたいマスクの裏のこの微
笑みを 那須世子

八〇メートルの回廊登れば耳たぶも鹿耳^{フーケッワン}の木のごと
染まりゆきたり 森上美恵子

バンコク短歌会のご案内

日時 第四日曜・十七時十五分～
場所 パーンネルコンサルタント社セミナールーム
電話 〇八九・八九一・一六八三
メール mickobkk@gmail.com (森上美恵子)

